



## 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ～子どもの読書活動を推進しましょう～

### 読書週間が始まります



2021年、第75回読書週間は、10月27日から11月9日までです。  
今年の標語は、「最後の頁を閉じた 違う私があった」です。

この標語の作者、緑川良子さんは、「没頭できる本に出会うと、読み終えてもすぐに現世に戻れません。しばらく宙に浮いたような感覚のあと我に返っても、読む前とは確実に何かが変わっています。そんな出会いをいつも楽しみにしています。」という思いで、この標語を作られたようです。

読書週間は、終戦まもない昭和22年「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・書店、公共図書館や新聞・放送のマスコミ機関も加わって、第1回読書週間が開催されました。そのときの反響はすばらしく、当初の期間は11月17日から11月23日までの1週間でしたが、翌年の第2回からは期間も文化の日を中心とした2週間と定められ、この運動は全国に広がっていきました。そして、「読書週間」は日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

読書推進運動協議会 HP には、「今、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに「本」は重要な役割を果たすことは変わりありません。」と書かれています。こんな時代だからこそ、「本」の重要性を改めて感じる事ができるのではないのでしょうか。

福岡市では、平成29年2月に「福岡市子ども読書活動推進計画（第3次）」を策定し、家庭・地域・学校・図書館を中心に、関係機関や団体と連携しながら、創意ある取組みを推進しています。教育委員会では、読書推進活動の一つとして新入生に先生方から推薦された図書を※「新1年生へのおすすめ本リスト」にして配布しています。今年度も、小中学校に配布した「新1年生へのおすすめ本リスト」に記載した本を紹介しますので、読書週間に図書館などに展示されてみてはいかがでしょうか。

※「新1年生へのおすすめ本リスト」

教育委員会では、小学校や中学校の先生方から推薦された図書を紹介することで、新入生たちが学校での学習に興味を持ち、読書する本の幅を広げ、学ぶ力の向上と豊かな心の育成に資することを目的に、毎年、小学校、中学校に「新1年生へのおすすめ本リスト」を配布しています。このおすすめ本リストを作成するために、小学校、中学校の各教科の研究委員会や研究会に本を推薦していただいています。小・中学校に配布した「新1年生へのおすすめ本リスト」は、教育委員会ホームページに掲載しています。

## 令和3年度の新入生の本の推薦



### (小学校)

教科		書名	著作者等	出版社
国語科		みんながおしえてくれました	五味 太郎／作	絵本館
算数科		さんすううちゅうじんあらわる！	かわばた ひろと／作 高島 那生／絵	講談社
音楽科		つきよのおんがくかい	山下 洋輔／文 柚木 沙弥郎／絵	福音館書店
図画工作科		あおくんときいろちゃん	レオ・レオーニ／作 藤田 圭雄／訳	至光社
家庭科		おにぎりをつくる	高山 なおみ／文 長野 陽一／写真	ブロンズ新社
体育科		11ぴきのねこマラソン大会	馬場 のぼる／著	こぐま社
生活科	社会	はがぬけたらどうするの？	セルビー・ビーラー／文 ブライアン・カラス／絵 こだま ともこ／訳 石川 烈／監修	フレーベル館
	理科	昆虫とあそぼう	とだ こうしろう／作・絵	戸田デザイン研究室

### (中学校)

国語科	クロニクル 千古の闇   オオカミ族の少年	ミシェル・ペイヴァー／作 さくま ゆみこ／訳 酒井 駒子／画	評論社
社会科	こどもSDGs	秋山 宏次郎／監修 バウンド／著	カンゼン
数学	思考の整理学 (ちくま文庫)	外山 滋比古／著	筑摩書房
理科	「ロウソクの科学」が教えてくれること	尾嶋 好美／編訳 白川 英樹／監修	SBクリエイティブ
音楽教育	羊と鋼の森 (文春文庫)	宮下 奈都／著	文芸春秋社

美術	ミケランジェロとコーヒータイム	ジェイムズ・ホール／著 大木 麻利子／訳	三元社
保健体育	不可能を可能にする大谷翔平 120の思考	大谷 翔平／著	ぴあ
技術	コンピューターってどんなしく み？	村井 純／監修 佐藤 雅明／監修	誠文堂新光社
家庭	せいかつのふしぎ なぜ？どう して？	梅澤 真一／監修	高橋書店
英語	Frog and Toad together	Arnold Lobel	HarperCollins Publishers

## 学校図書館担当者連絡会がありました

8月16日「令和3年度学校図書館担当者連絡会」がZoomで開催されました。

まず始めに、教育委員会より挨拶があり、次に小学校教育課から学校における読書活動の推進について、学校図書館が持つ「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての目的・機能を十分果たす必要性があることの説明がありました。

続いて福岡市の図書館教育について「第2次福岡市教育振興基本計画」についての詳しい説明があり、福岡市の子どもたちの実態から、確かな学力の向上と豊かな心の育成のために読書活動の推進を図ることの重要性を感じることができました。

さらに、読書活動の活性化に向けた実践発表が、高取小学校の下前先生よりありました。国語学習の発展として、昔話から同じ題名の本であっても、表現の仕方がさまざまがうことから、子どもたちの読書活動の意欲を持たせることができる、丁寧な実践発表でした。

後半は、学校図書館支援センターから、支援内容の紹介と連絡がありました。そして、学校図書館活性化に向けた日常の業務、学習支援のための取り組み、読書量を増やすための取り組みについて、グループに分かれての情報交換が行われました。図書館担当の先生、また、学校司書の先生方による活発な交流があり、それぞれの学校で工夫した取り組みが行われていることがよくわかりました。

学校図書館支援センターでは、次の日から、電話での問い合わせがあったり、学習支援用図書貸出のFAXが届いたりし、先生方が子どもたちの読書活動の活性化に向けた取り組みをされているのだなど、感じました。

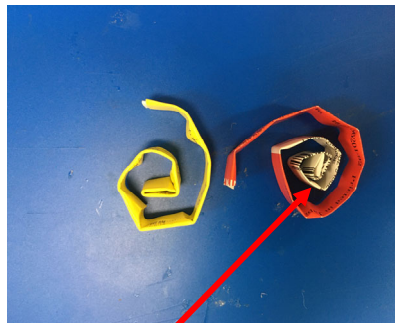
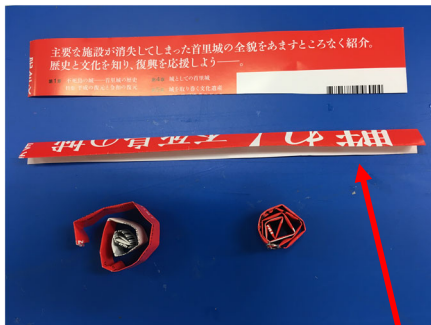
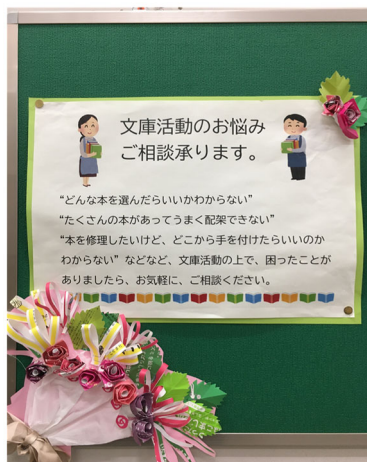
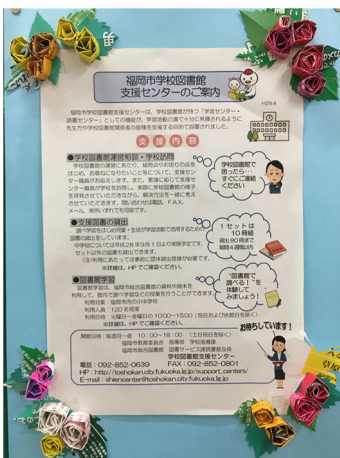




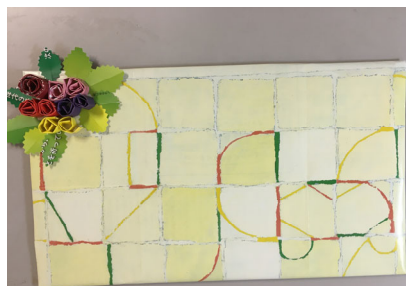
## 本の帯を使った9月の掲示・展示

夏休みに貸し出した本が図書館にもどり、たくさんの本で賑わっていることでしょう。コロナ感染の心配もあり、貸し出しについては安全面等で細心の注意を払っていらっしゃると思います。

総合図書館団体貸し出しでも、選本に来られた利用者の方が安全に、少しでも気持ちよく借りることができるような掲示を心掛けています。そんな中、貸し出しのお願い等に掲示しているバラの花を見て、「かわいい!これも本の帯で作られたんですか?」「作ってみたい。」と、よく言われます。簡単に作れますので、作り方を紹介します。ぜひ、子どもたちと作ってみてください。

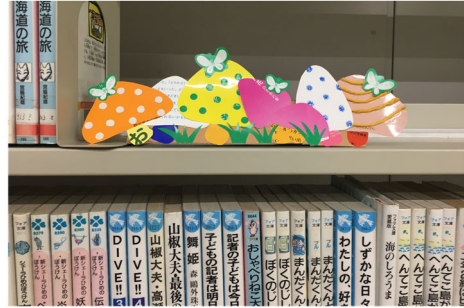


帯を2回くらい折り、細長い長方形を作ります。それをくるくると巻きながら折ります。最後にのり付けをします。角を作って三角に折っていくとバラらしくなります。



何を書こうかな。

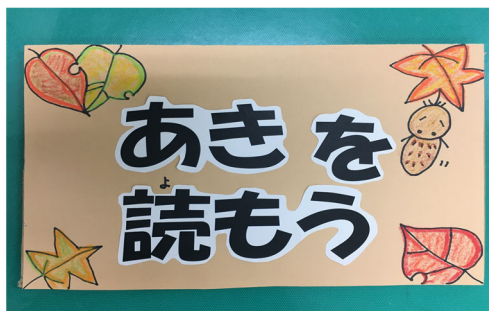
# 秋を感じて



きのこの丸いもようは、パンチで穴を開けた時に出る紙です！  
一人一つずつ作ったきのこを並べて貼るとかわいいです！



ティッシュを丸めてぶどうを作ります。紫の絵の具を付けたら、ぶどうの出来上がり！



きのこ、ぶどう、コスモス・・・季節を感じる掲示物があると、気持ちよく読書ができそうですね。「秋の本」のコーナーも作ってみましょう。





## 10月生まれの文学者



### 川北亮司(かわきた りょうじ)と「うちゅうでいちばん」

1947年10月31日東京都荒川区生まれ

川北氏は東京の下町で生まれ、子どもの頃はプロ棋士を夢見て、日本将棋連盟道場に朝から深夜まで入り浸りでした。

大学入学後は、児童文学サークル「少年文学会」に入会しました。きっかけは、浪人の時にペンフレンドから「星の王子さま」の本を勧められたことがきっかけだったそうです。その後、大学在学中に書いた「はらがへったら じゃんけんぼん」で日本文学協会新人賞を受賞し、学生作家として新聞にも大きく掲載され、10年程の間に「街かどの風」など20冊近く書きました。

「うちゅうでいちばん」は、40年前に丹後半島の漁村の分校で出会った子どもたちをモデルにした物語です。父親がサラリーマンだった川北氏は、子どもが父親の手伝いをし、父親の働く姿が見えることが新鮮でうらやましく、そんな親子関係を描きたかったそうです。

川北氏の作品は、「マリア探偵社」シリーズ絵本「のんびり森のぞうさん」など多数あります。

### 乙一(おついち)と「きみにしか聞こえない CALLING YOU」

1978年10月21日福岡県久留米市生まれ

乙一氏は、16歳の時、友人から借りたライトノベルの「スレイヤーズ」を読んだことで小説を読む楽しさを知り、それから1年半程はゲームや漫画だけでなくライトノベルを読みあさったそうです。そして、17歳の時、ゲーム本の「かまいたちの夜」を読んだことがきっかけでミステリーに熱中し、「夏と花火と私の死体」で、ジャンプ小説・ノンフィクション対象を受賞し、小説家デビューしました。

乙一というペンネームにした理由は、画数の多い字が嫌いなこと、ライトノベルのイラストの人には漢字二文字の人が多く、画数の少ない乙一と付けました。

「きみにしか聞こえない CALLING YOU」は、友達が少なく、携帯電話も持っていない女子高校生が、空想の携帯電話を通して男子高校生と心を通わせ、悲しい結末を乗り越えていく話です。

乙一氏の作品は「GOTH リストカット事件」(本格ミステリー大賞)「ゴーストは小説家が好き」「銃とチョコレート」などがあります。

【あとがき】 せみの声が秋の虫の声に変わり、秋本番を迎えています。コロナ禍ではありますが、秋は子どもたちにしっかりと読書に親しんでほしい季節です。『デジタルで読む脳×紙の本で読む脳 メリアン・ウルフ(著)大田直子(訳)』には、「紙やデジタルといった媒体によって、異なる脳回路をそれぞれに育み、流暢に切り替えられる「バイオテラシー脳」を身に付けていくことの大切さ」が書かれていました。なるほどと思う内容でしたが、なかなか理想通りにはいきません。子どもたちにはデジタルと紙どちらかに偏らないような読みをさせたいものです。(足立)



今月は没後100年以上経った現在でも読み続けられている世界的文豪の本です。

『人にはたくさんの土地がいるか』

レフ・トルストイ／著 北御門 二郎／訳 あすなろ書房 2006年 ¥900(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年★☆☆ 中学生★★★★

高校★★☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

自分の土地をできるだけ広く手に入れたいと望む主人公が、その欲望のために命を落とす表題作と、卵ほどの大きさの謎の穀物の正体を皇帝が追い求める「卵ほどの大きさの穀物」の2作を収録。世界的文豪であるトルストイが、自身の大作を否定し「単純に、簡素に、わかり易く」書いた民話。シリーズ「トルストイの散歩道」(全5巻)の3巻目。

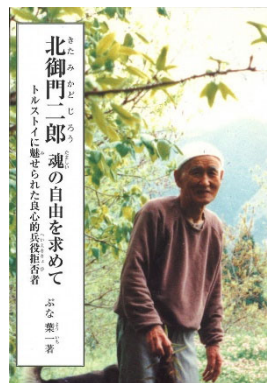
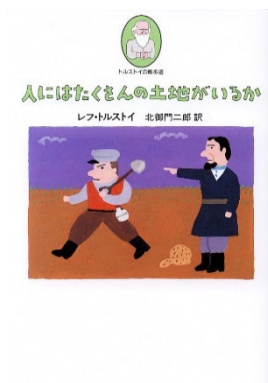
<子どもに手渡す時のポイント>

本文は2作で50ページ程度と短い話で、朝の読書の時間などにもおすすめです。

本の4分の1程度ものボリュームがある巻末の略年譜では、トルストイの身に起きた出来事だけでなく、彼の考え方の変遷や、彼が影響を与えた著名人など、トルストイを詳しく知ることができるので、作品や著者に興味を持った子どもには、ぜひその頁も勧めてみて下さい。

トルストイ研究とその翻訳に人生を捧げた訳者の北御門二郎の伝記『北御門二郎魂の自由を求めて：トルストイに魅せられた良心的兵役拒否者』(ぶな 葉一／著 銀の鈴社 2014 ¥1200)も出版されています。併せて紹介してもよいと思います。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。



発行：福岡市教育委員会

総合図書館 図書サービス課

電話：092-852-0639

FAX：092-852-0801